

【専門教育科目/看護の展開/母性看護学】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
母性看護援助論Ⅱ	NSP33_006	必修	1	3年	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
田中深雪	409	m.tanaka	金曜日 16:20~17:50		
授業の目的・概要	母性看護を系統的に実践するために、妊娠・分娩・産褥期における母性及び胎児・新生児とその家族の事例をとりあげウェルネスレベルの看護診断の技法を用いて正常な妊娠・分娩・産褥・新生児の経過を家族の役割なども含めてアセスメントし、看護計画の立案および評価という一連のプロセスの基本的な展開方法を学習する。母性看護の対象である妊婦・産婦・褥婦と新生児の看護に特有な技術を対象に応じた方法で実施するために知識を共有し、技術・態度を修得する。妊娠・分娩・産褥・新生児期をアセスメントするのに必要な経過と健康診査に必要な観察のポイントおよび健康診査を実施するための情報の収集の項目・方法を学ぶ。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	3年後期の母性看護学実習に直接つながる学習となる。ウェルネス看護過程、知識や技術をその都度確認しながら事例展開を行うこと。				
教科書	系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学①/著:森恵美 他/医学書院/2019 系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学②/著:森恵美 他/医学書院/2016「2冊指定」				
参考書	根拠がわかる母性看護過程 事例で学ぶウェルネス志向型ケア計画/中村幸代/南江堂 母性看護学概論、母性看護援助論Ⅰで使用したテキスト、配布資料、参考書など				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	リプロダクティブ・ヘルス/ライツの視点をもとに、多様な価値観を尊重した看護のあり			NS(1)(2)	
②	産褥期、新生児期の母子の健康状態(健康上の問題)を判断し、健康増進に向けて必要な			NS(2)(3)(4)	
③	産褥期および新生児期にある母子とその家族の看護に必要な基本的技術を理解し実施す			NS(2)(3)(4)	
④	学生同士で協力し協調性及びリーダーシップをはぐくむことができる			NS(2)(5)	
⑤					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	褥婦の看護過程の展開 1-①	講義・演習	【課題】①事例の読み込み②知識整理③情報整理④アセスメント	1	
2	褥婦の看護過程の展開 1-②	講義・演習		1	
3	褥婦の看護過程の展開 1-③	講義・演習	【課題】①アセスメント②看護計画の立案	1	
4	褥婦の看護過程の展開 1-④	講義・演習	【課題】看護計画の立案	1	
5	褥婦の看護過程の展開 1-⑤	講義・演習	【課題】①評価、看護計画の追加、修正②退院指導計画立案	1	
6	褥婦の看護過程の展開 1-⑥	講義・演習		1	
7	新生児期の看護過程の展開 2-①	講義・演習	【課題】①情報整理②アセスメント	1	
8	新生児期の看護過程の展開 2-②	講義・演習	【課題】アセスメント	1	
9	新生児期の看護過程の展開 2-③	講義・演習	【課題】①アセスメント②看護計画立案	1	
10	新生児期の看護過程の展開 2-④	講義・演習	【課題】看護計画立案	1	
11	新生児期の看護過程の展開 2-⑤	講義・演習	【課題】評価、看護計画の追加、修正	1	
12	新生児期の看護過程の展開 2-⑥	講義・演習		1	

【専門教育科目/看護の展開/母性看護学】

13	ウェルネス看護過程のまとめ	講義・演習	【課題】知識の整理、看護過程の見直しを行う	1				
14	産後ケア①	講義・演習	【課題】産後ケアについてのレポートをまとめる	1				
15	産後ケア②	講義・演習		1				
試	定期試験 達成度評価・評価のポイント参照							
達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		20	60	0	0	20	100	
総合力指標	知識・技術力	10	20	0	0	0	30	
	思考・推論・創造する力	10	20	0	0	0	30	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10	
	取り組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10	
	問題を発見・解決する力	0	20	0	0	0	20	
評価のポイント								
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法		
試験	①	✓	学習内容の知識を問う試験を行う。全体の 20%で評価する。				試験後に解説を実施する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
レポート	①	✓	看護過程展開記録およびレポートを全体の 60%で評価する。				各回課題提出後フィードバックを行う。 レポートはコメントを付して返却する。	
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①		課題提出状況、取り組み姿勢（教員とのコミュニケーションを含む）を全体の 20%で評価する。				取り組み姿勢について適宜コメントする。	
	②							
	③							
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員								
教 員 の 実 務 経 験	助産師として 5 年以上の臨床経験を有する。							
実 践 的 授 業 の 内 容	実務経験のある教員の指導のもと周産期にある母子の看護について理解を深める。							
そ の 他	今後新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更を行うことがある。							